

<森のクイズラリー> 問題&解説シート 2025年度秋版

A

Q. 天気が変わりやすい秋の空。これは、秋の時期に空の高いところで吹く「とある風」が関係しています。その風の名前は？

- ①偏東風 ②偏西風 ③偏南風 ④偏北風

【こたえ】 ②偏西風

偏西風は、空の高いところで西から東へ強く吹く風です。夏は日本より北、冬は南を流れています。秋には日本の上空にちょうど差し掛かります。この風によって乾いた空気と湿った空気の入れ替わりが激しくなり、天気が変わりやすくなるのです。そんな秋の空模様は、風と空気と雲の気まぐれがつくってくれたオンリーワン。空からの贈り物だと思つと、秋空の移り変わりを見ていくのが楽しみになりますね。

B

Q. 清里にも実りの秋がやってきました。落ちている木の実を探して、1つ拾ってみましょう！

【こたえ】 あなたの見つけた木の実が正解！

清里で実る木の実には、様々な生き物の食べ物にもなっています。鳥が大好きなミズキの実、ネズミが食べたりため込んだりするミズナラのドングリ、冬眠前のヤマネの食べ物になるヤマブドウやサルナシなどがみつけられます。そうした木の実には、ときには動物に運ばれ、また種がフンとともに出されることで、育つ場所を広げていきます。あなたが手にした木の実には、この先どんなドラマが待っているのでしょうか？
※拾ってきた木の実には、なるべくあったところへ戻してあげてくださいね。

C

Q. この看板の後ろにある木をぐるっと一周見てみましょう。皮がはがれた跡が見つかるでしょうか。これはいったい誰のしわざ？

- ①キツツキ ②リス ③イノシシ ④シカ

【こたえ】④シカ

シカが食べ物にしている草が枯れてくると、代わりに木の皮をはがして食べることが増えてきます。皮の裏には根から水や養分を運ぶ管がたくさん通っていて、それがシカにとっての栄養になるのです。ただ、皮を一周はがされてしまうと木は枯れてしまうため、シカが増えている地域では「食害」として問題になっています。

D

Q. 近くで落ち葉を見つけて、一枚拾ってみましょう。

その落ち葉も、いつかはこの足元にあるような黒い土になります。

秋に落ちた葉っぱが土になるまで、どれくらいの時間がかかる？

①春には土になる！？半年

②だいたい1年！

③もっと時間がかかる！4～5年

④「葉っぱ」で64年！

【こたえ】③4～5年

地面に積もった落ち葉は、ミミズやヤスデ、小さな虫などに食べられながら、少しずつボロボロに分解されていきます。このような生き物たちは「分解者」と呼ばれ、問題Bで紹介したキノコもそのひとりです。4～5年で落ち葉は小さな粒にまでなり、分解者のフンなども混ざりながら、栄養満点の黒くてふかふかした土がつくられていきます。

E

Q. 最後の問題です！今日歩いてきた清里の自然の中で、秋らしいと感じたものを絵や言葉で教えてください！音や匂いでもOK！

【こたえ】あなたが書いた答えが正解！

朝夕が肌寒くなり、赤トンボが黄色から赤へ色づき始めると、清里に秋がきたサインです。そして秋本番になると、夜な夜なシカのオスがメスを呼ぶ恋鳴きが響きます。それからカエデの紅葉が終わり、紅葉のラストスパートをつとめるカラマツの黄色い葉っぱまで落ち切ると、冬がやってきます。清里の秋は短い分、その間で目まぐるしく自然が移り変わっていく様子が味わえる、ぜいたくな季節といえます。